☎0269-67-0748（直通）
FAX 0269-62-0005

3月定例会 一般質問

3月3日～7日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。（掲載は次ページからになります。掲載の順番は質問順です。）

掲載内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋し、各議員が作成した原稿をもとに編集委員会において確認し編集しております。

なお、正副議長につきましては、任期中は申し合わせにより一般質問は行わないこととしております。

北信越市議会議長会定期総会

4月6日富山県富山市において第98回北信越市議会議長会定期総会が開催され、渋川議長・岸田副議長が出席しました。

各県から提出された議案については、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。可決された議案の一部は全国市議会議長会へ提出されます。

議会を傍聴しませんか!!

市政を知る良い機会です。議会傍聴にお出かけください。議場は市役所5階です。傍聴席入口からお入りください。

本会議については「iネット飯山」での放送および「YouTube」にて動画配信を行っております。

令和5年6月定例会 会期日程（予定）

- ◆招集・議案上程　6月8日㈭
- ◆一般質問　6月16日㈮～20日㈫
- ◆各常任委員会審査　6月21日㈬～23日㈮
- ◆委員長報告・採決　6月28日㈬

水道の漏水減免と駅前ホテルの検証について

山崎武雄議員

問 冬期間の漏水に係る減免の件数と、漏水量の上限規定を設けるべきと考えるが。

答 過去3年間で漏水減免を受けた件数は291件。近隣市町村では漏水量の上限を定めて減免しているところもあるため今後調査研究していく。

問 駅前ホテルに係る第三者検証委員会設置の理由についてお尋ねする。

答 駅前市有地宿泊施設促進事業に係る事務執行が法令などにのっとり適正に行われていたのかを客観的かつ公平に検証していただくため。

問 3月中に予定される懇談会の主な検証点についてお尋ねする。

答 第1点に、プロポーザル募集要項では、補助金交付の用意があることが示されていない。第2点目に、応募者の資格として宿泊施設等の運営者となる者が誓約書で担保されているとすれば、その点について問題はないか。第3点目に、7階建てあるいは8階建ての建物を作ることが景観計画や地区計画に照らして問題はないか。

5年度予算案とコロナウイルス感染症対策

上松永林議員

◆予算案

問 市長公約重点政策推進の「スポーツ・文化・芸術・歴史・伝統を活かした飯山市づくり」とはどのような飯山市なのか。

答 行政だけでなく関係者、事業者、地域の皆さまと共に考えていく飯山市づくり。

問 「産業振興、事業者支援」の具体的な事業を尋ねます。

答 中小企業振興条例を5年度中に制定予定。条例に基づき振興・支援策を検討する。

問 経済の低迷は生産年齢人口減少が原因。若者の雇用を増やす政策と、経済の機関車となる業種を育成することと思うが、考えを聞きたい。

答 農業と観光が基盤産業。関係団体と考えていきたい。

問 経済振興を模索する経済再生会議を立上げてはどうか。

答 今後研究してまいりたい。

◆コロナウイルス

問 事業者支援は十分か。

答 コロナを直接の原因とする倒産廃業の事例は無かった。

問 売上増・成長への経済施策が求められていると思うが。

答 関係団体・事業者と共に考えてまいりたい。

市内死者数の増加、有機食材給食、脱炭素

松本淳一議員

問 ワクチン3回目が始まった最近2年間の市内の死者が増加していて心配だが、どう考えるか。

答 全国の傾向と同じで増加している。

問 ワクチン接種救済制度の利用はあったか、制度申請の費用の補助はできないか。

答 一例申請があった。申請費用補助は考えていない。

問 学校給食の食材を有機無農薬にできないか。

答 有機の認証条件は厳しい、各学校は地元の協力を得て減農薬、減肥料の食材を使用しているが通年は難しい。

問 食材の有機化では市との契約栽培、全量買い付けが考えられるが、今後の給食会計について聞きたい。

答 国の勧めもあり、市の予算に組み込む公会計化の研究を開始している。

問 脱炭素では建物の断熱が重要だが、新統合小学校は地域の見本となる最先端の取り組みになっているか。

答 国の最新基準の最も良いランクとなる設計になっている。

観光振興と長峰運動公園

髙橋達幸議員

問 観光振興において、広域9市町村長さん方との融和をしっかりとっていくことが大切と思われるが、過日、隣接する村長選において現職候補でなく、次点で落選した候補の応援に行かれ応援演説までされている。市内外からのいろいろな意見が聞こえてくるが、何故そういう行動をしたのか。

答 市長としてではなく、一市民友人として応援に行った。それぞれの方がどう理解するかはご自由だと思う。政治活動は国民に認められた権利。

問 長峰多目的運動公園において、プールの改修・芝生の管理・花の植栽等、景観的に手を加え管理を徹底し、観光名所にすべきと思うが。

答 多目的公園の良さを生かして景観に配慮し、市内外からより多くの方が訪れる多目的公園にしていきたい。

問 クリーンな飯山市を目指し、市施設のトイレをウォシュレット付きにすべきと思うが。

答 観光PRとしてクリーンなイメージは大切。財源の確保を含め総合的に検討したい。

市民の安心安全について

吉越利明議員

問 来年度における有害鳥獣対策事業での新たな取組は。

答 電気柵において一定の個人が行う事業に補助対象になるよう拡充を予定している。また鳥獣の目撃や出没状況をスマホのアプリを活用しタイムリーにお知らせできるよう関連事業費を予算計上した。

問 消防団員処遇改善は大変評価する。今後の効果と展望は。

答 処遇改善計画により低額であった報酬等の見直しにより団員確保が期待できると考えるほか、消防団は地域のボランティアの代表として日々活動いただいており計画策定を契機に改めて地域の方々に認識いただき、いつの時代も団員確保がされ続けることを望む。

◆駅前ホテルについて

問 駅前ホテル開業の効果は。

答 信越自然郷の中心地であり観光等でのお客様増加に伴う消費拡大による地域の観光業や飲食業、小売業などの経済波及効果が見込まれ、施設内の健康増進施設により市民の健康増進と憩いの場づくりに寄与される効果として期待する。

学校給食無償化・地域医療・ジェンダー平等

荻原章一議員

問 学校給食無償化を歓迎する声が多い。重い教育費負担の軽減こそ子育て支援の柱。国政が不十分な中で住民の利益を守るため、地方自治体の役割をしっかり果たそうとする姿勢を評価する。新年度の予算措置は。

答 段階的な実施として、学校給食費負担軽減事業に4割の補助、約3000万円余を計上した。

問 地域医療の中核である飯山赤十字病院の医療体制充実への課題と支援方針は。

答 救急医療等に係る補助金や医師奨学生の募集などの支援を継続してきた。医療提供体制では、診療科の減少や医師確保が大きな課題。救急外来は当地域にとって命綱。地域全体で支援の必要がある。

問 ジェンダー平等は誰もが自分らしく尊厳を持って生きることができる社会を目指すもの。特に遅れているのは政治分野。市の取組は。

答 社会形成に重要な男女平等の原点に立ち男女が互いに尊重し合う飯山市を目指す。審議会の女性委員を追加した。

駅前ホテルと国からの職員受け入れについて

佐藤正夫議員

問 駅前ホテルの検証のため、条例により検証委員会を立ち上げると議案上程しながら、議案審査に入る前に懇談会形式で委員会を開催するのは如何なものか。

答 条例が認められたら検証委員会に移行する予定です。

問 市長公約と言うが選挙チラシ・選挙広報・市報11月号12月号にも一行も無い。公約と言えるのか。発言内容も日ごとに違ってきている。

答 告示日前日に支持者集会で申し上げた。法廷ビラは出来上がっていたので間に合わなかった。市報未掲載は私が見て了承した。したがって私のミスであり申し訳ない。

問 ホテル事業は協定通り進めながら、並行して時間をかけて検証すればよいと思うが。

答 ホテル事業について、その考えは受け入れられない。

問 国には条件不利地域の小規模市町村に地方応援隊として職員を派遣する制度があるが、市は応募する気はあるか。

答 当市も条件に当てはまるので農水省の職員派遣に応募する準備を進めている。

伝統産業の支援 副市長情報発信 治水対策

村松正勝議員

問 伝統産業を次世代に繋ぐため学びや体験の機会を設けてはどうか。

答 ふるさと学習に関わる小中連携教育の地域教材冊子も作成中。地域の価値ある題材をできる限り年代問わず学べるよう考えて行きたい。

問 副市長の情報発信の方法はどのようなことを考えているのか。

答 現時点ではSNS・iネット・人を通した情報発信を考えている。観光に関わる事も積極的に発信。市報掲載の情報を抜粋して伝えるコーナーをiネットに作りたい。

問 飯山市の治水対策についての考え方は。

答 千曲川の治水対策は一番重要。引き続き国県へ要望していくとともに事業スケジュールを確認し市民に示し、取組を推進する。

問 避難所の高齢者や女性の受入体制は万全か。

答 令和元年東日本台風を教訓に、人員確保や施設改修を除いて改善してきている。女性だけの避難所は現時点の人員・施設体制では難しい。

不登校、空き家問題について

西澤一彦議員

問 12月議会で不登校問題について質問したが、学校と異なる居場所、指導支援の人材、予算も確保され、一歩前進していた。引き続きお願いしたいが、また私は試練の嵐にあっても悠々と乗り越える人間力、自己肯定感が非常に重要と考えるが見解を伺う。

答 子どもへの本当の愛情とは何かを考え、過度に大事にではなく集団生活の中で自己肯定感を持つことで、自立して生き抜く力が養われると考える。

問 移住者にとり空き家は魅力的な選択肢の一つだが、昨年の大雪で一夜にして特定空家になった家もあった。多額の解体費用も発生する。どうしても先延ばしがちな空き家になる前から家族でしっかり話し合うことの大切さの周知が大切と考えるが。

答 広報等で親族間の話し合いの重要性をさらに周知し、自治会等各種関係団体、建築・不動産関係の専門家と連携し相談体制の充実を図っていく。

観光局の人事について

髙橋春三議員

問 市から観光局への派遣職員は何名でしょうか。

答 職員研修派遣協定を締結して派遣している職員は、事務局長、道の駅統括マネージャー、森の家の地域おこし協力隊員の3名。信州いいやま観光局の定款等に基づき、副市長が理事長、経済部長が理事として選任されています。

問 補助金を受ける人と、出す人、それを評価する人が同じ人です。これでは市と観光局の関係に、いわゆる、三権分立なる関係が成立していません。結果、緊張感がなくなり、ひいては市税の無駄遣いに繋がるのではないでしょうか。権限の分立の考え方に即しての答弁をお願いします。

答 観光局の理事者や事務執行者が、市管理職員として重複している点については、民法で規定する双方代理に基づき、地方公共団体飯山市の長である市長に対し、相手方の法人信州いいやま観光局の長には副市長に着任いただいている事で、権限の考え方を整理しております。

一般質問

ジェンダー平等 子育支援、大阪市交流について

髙澤富士子議員

問 飯山市のジェンダー平等への取り組みをお聞きする。

答 市の審議会等委員の女性の参画率35%(パーセント)達成を目指し取り組んでいる。副市長には女性の皆さんが参加しやすい環境を整えていくなど、個人や集団が本来持っている能力を引き出すため先頭に立ってもらいたいと考えている。

問 公約にあった「出産特別給付金を20万円に増額」が実現していないのはなぜか。

答 国と県、市も一部負担の出産・育児応援交付金10万円と併せて20万円になったので、市の財政状況も鑑み決めた。今後は効果を見て考えたい。

問 高校生の通学費補助についてお聞きする。

答 市内外に通う高校生の通学費負担が大きいことは承知している。現状や今後の見通しも含め、市の財政や周辺自治体の状況を調査しつつ研究したい。

問 大阪万博を視野に入れた大阪市との記念交流事業は考えているか。

答 可能な限り飯山の情報発信に取り組んでまいりたい。

駅前ホテルの検証について

山﨑一郎議員

問 駅前ホテル事業に疑問点があるなら、一生懸命取り組んできた庁内関係者に先ず説明を求めるべきであるが、それをしないで第三者に検証を求めるのは職員を信じていないパワハラ的行為に思う。

答 法律の専門家に尋ねたところまったく問題ないという方はいなかったので、専門家に委ねるのが適切と判断した。

問 法律のことなら飯山市の顧問弁護士に相談すべきだがなぜしなかったのか。

答 行政法規は大変複雑なので無理だと判断した。

問 ホテルの高さについても問題を指摘しているが、市の景観計画策定時に伊東副市長が公募委員で参画してたのに、なぜ相談されなかったのか。

答 公募委員であった事は理解しているが、法曹の専門家でないので相談していない。

問 市長が指名した委員に利害関係者がいるとの指摘があるが、これでは公平性ある審査は期待出来ないと思うが。

答 何れの委員についても経歴や活動など調べ、利害関係者でないことを確認した。

子育て支援事業と災害対応について

常田徳子議員

問 子育ての相互援助活動ファミサポの提供会員を増やすために事前講習会を開催していただきたいと思うが。

答 子育て支援の充実に向けて講習会を開催したい。周知の方法や託児など検討して取り組みたい。

問 保育園3歳未満児の給食費一人あたり月7500円の無償化に伴い、自宅で子育てしている人への支援はどうか。

答 やむなく保育園にあげざるをえない方への支援を第一に考え、それ以外の方への支援については研究したい。

問 妊娠中の人や赤ちゃんを抱えた人の避難所についてホテル、民宿、病院、助産所と提携をしてはいかがか。

答 現在指定する避難所で、別室を設けるなどを考えているが、研究をしていきたい。

問 危機管理監について外部からの専従者をとの話もあるが、職員が兼務をする方が財政的にも業務的にも良いと思うがいかがか。

答 最善の体制を整えることができるよう検討をする。その際に参考にさせてもらう。

施政方針と2023年度予算案について

小林喜美治議員

◆施政方針と予算編成

問 2023年度当初予算は江沢市長最初の予算となるもの。この間にない大型の予算になっている。新たな小学校建設や道の駅の拡張計画など大型事業が掲げられている。暮らしや福祉の予算など、予算の特徴と評価について伺う。

答 基本構想との整合性を図り、目標達成への着実な推進に重点を置き編成したもの。大型事業の他、給食費の無償化、子ども医療費の窓口完全無料化など子育て世代の支援に向け、予算計上したもの。

◆マイナンバーカード

問 マイナンバーカードは制度発足以来一貫して反対してきた。国は普及のため国民健康保険証や運転免許証との一体化を狙っている。国民健康保険証や免許証との一体化はやめるよう国に意見をあげるべきと思う。

答 マイナンバーカードについては市町村は国の法廷委託事務として行っている。カード取得は義務ではなく、あくまで個人の意思により申請をしていただいている。

◆◇ 飯山市議会本会議の動画を配信しています ◇◆

☆ 受信方法

〇飯山市議会ホームページ　本会議動画配信ページ
〇 YouTube「飯山市議会」チャンネル

こちらの QR コードから

チャンネル登録お願いします！